

全
広
連

二〇二二年六月二十四日発行/奇数月回五日発行/通巻二〇〇号/昭和三十九年二月十二日第三種郵便物認可
発行/公益社団法人全日本広告連盟 〒一〇四・〇〇六一 東京都中央区銀座七丁目四番十七号電通銀座ビル七F

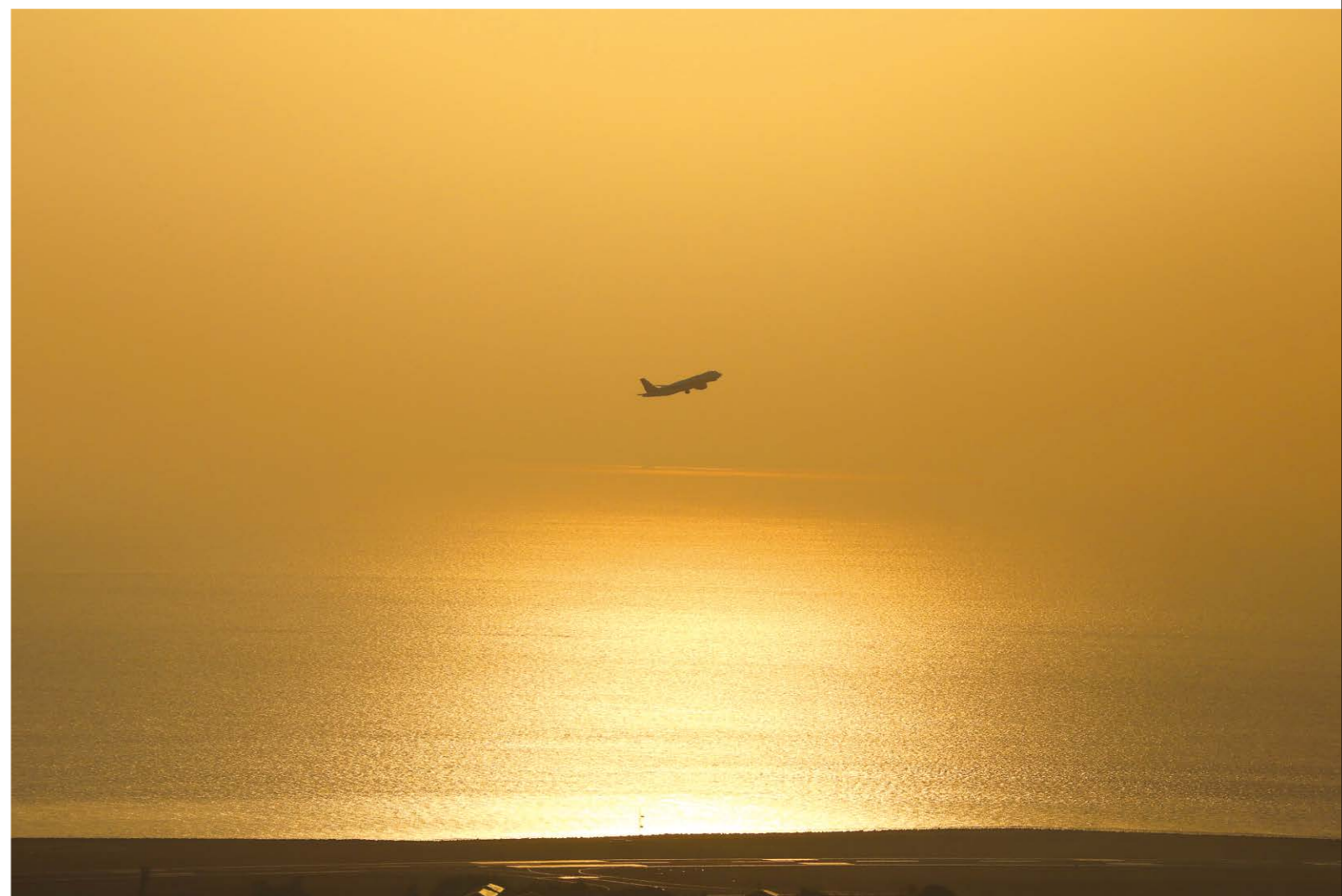
電話〇三・三五六九・三五六六 www.ad-zenkoren.org
定価四五〇円(購読料は金費に含む)

広告の元気は、ニッポンの元気。

全 広 連

Special Report

第70回 全日本広告連盟 沖縄大会



大分県 国東市/朝日を受けて大分空港を離陸する飛行機



公益社団法人
全日本広告連盟
JAPAN ADVERTISING FEDERATION

www.ad-zenkoren.org

「大会を終えて」



第70回全日本広告連盟
沖縄大会組織委員会 会長
石嶺 伝一郎

沖縄の日本復帰50年記念と位置付けた第70回全日本広告連盟沖縄大会は「広告で未来を明るく! ようこそ南の島の広告祭へ」と題し、5月19日に沖縄市の沖縄アリーナで開かれました。190人の現地参加と500人のオンライン参加をいただき、おかげさまで無事終えることができました。皆様のご支援ご協力に心より感謝を申し上げます。

コロナ禍の中にあって、私たちの開催準備は終始手探りでした。感染防止対策に万全を期しつつ、私どもとしてはできる限り多くの方のご参加をいただくべく、特に式典についてはぎりぎりまで数の制限を設けずに開催したいと強く念願しておりました。しかしながら、オミクロン株が春から沖縄でじりじりと広がって人口比では感染者数全国最多の状況が続き、人の移動の多い黄金連休を挟むと一層の拡大が確実視されたことから、4月末にやむを得ず参加者数制限に踏み切りました。まことに無念の思いで、苦渋の決断でした。直前の変更により皆様には多大なご迷惑をおかけしたと存じます。あらためて深くおわび申し上げます。

大会は、昨年の東京オリンピック空手男子形で金メダルに輝いた喜友名諒選手ら3人による空手の演武で幕を開けました。続いてBリーグ

で活躍する琉球ゴールデンキングス(沖縄バスケットボール社)の社長を務める木村達郎氏が登壇し、「地域におけるスポーツビジネスの可能性」と題して記念講演しました。バスケットボールを軸にした地域活性化の実体験を語っていただきました。

午後の部は「沖縄返還50年と広告を振り返る オキナワが向かう明るい未来～広告・エンタメに観る復帰前後イメージの変遷」と題したトークセッションを行いました。うちな～(沖縄) 嘶家・志いさー(藤木勇人)さんの口上で幕開けし、ガレッジセールとの二人が進行役となり、ゲストに具志堅用高氏を迎えて復帰前後の沖縄の広告を映像で見ながら歴史をひもとく形です。NHKの紅白歌合戦や連続テレビ小説にCMが付くという、米軍統治下だったからこそありえた沖縄の広告などもご紹介し、ご好評をいただきました。

企業や地域の情報を発信し、広く消費者と結びつけるコミュニケーション・ツールとしての広告の可能性を、この大会でお感じいただけたのでしたら幸いです。最後になりましたが、多大な激励とご支援を賜りました関係者の皆様に重ねて御礼を申し上げます。今後とも手を携え、ウイズコロナ・ポストコロナ時代の広告の未来を切り開いてまいりましょう。

広告の元気は、ニッポンの元気。

2022

全広連

Vol.1100

7

CONTENTS

- 2 Special Report 第70回全日本広告連盟沖縄大会開く
- 4 …………… 第1回「鈴木三郎助全広連地域広告大賞」各部門の評価点
- 5 大会祝賀 【沖縄大会 祝賀広告】
- 8 …………… 通常総会・理事会報告
- 10 次回大会案内 第71回全日本広告連盟金沢大会ご案内
- 12 …………… CLIP BOARD

Cover Photo & Off Shot

大分空港がアジア初の宇宙港に

大分から宇宙へ。航空機を使って小型人工衛星を打ち上げる米企業の拠点「宇宙港(スペースポート)」に、アジアで初めて選ばれた大分空港(大分県国東市)。開港によって交流・定住人口の増加、宇宙産業の活性化、観光振興といった効果が期待されている。今年2月には別府市で、国内最大の宇宙国際会議「第33回宇宙技術および科学の国際シンポジウム(ISTS)」が開かれ、同時開催された地元向けの関連イベント「おおいたそらはく」(写真)にも多くの県民が訪れた。



写真提供 表紙:中野浄昭氏 中表紙:大分合同新聞社 大分広告協会 協力

大会テーマ 『広告で未来を明るく!ようこそ南の島の広告祭へ』
第70回全日本広告連盟沖縄大会開く



第70回全日本広告連盟沖縄大会(主催:同大会組織委員会、(公社)全日本広告連盟)が、大会テーマ『広告で未来を明るく!ようこそ南の島の広告祭へ』のもと、5月19日、沖縄市の沖縄アリーナで開かれた。沖縄での開催は30年ぶり2回目。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、現地参加者は各地広告協会からの代表者に限定し開催。オンラインでのライブ配信も行い、現地185名、オンライン501名の計686名が参加した。



会場となった沖縄アリーナ

大会は、オープニングゲストの喜友名諒氏(2020東京五輪金メダリスト)らの沖縄劉衛流団体形チームによる空手演武で幕を明け、続いて、木村達郎氏(沖縄バスケットボール(株)/琉球ゴールデンキングス代表取締役社長)の記念講演が「地域におけるスポーツビジネスの可能性」の演



沖縄劉衛流団体形チームが空手演武を披露



木村達郎氏

題で行われた。木村氏は自身の沖縄での経験をもとに「スポーツには地域を元気にする大きな可能性がある。皆さんの力で全国各地でも沖縄のように地域を盛り上げてほしい」と語った。

昼食をはさみ、大会式典が開演。オープニングアトラクションでは琉球國祭り太鼓が創作エイサーを披露した。

式典開会后、石嶺伝一郎全広連沖縄大会会長が、「沖縄の地でこれからの広告の姿を語り合うことで未来を



琉球國祭り太鼓による創作エイサー

切り開ききっかけにしたい。広告がどこに向かうかを議論することは、アフターコロナの広告の在り方や今後の国の在り方を展望するものになる。本土復帰50年の年に新たなスタートを切る催しが沖縄で開かれることは感慨深い。」と歓迎の挨拶を行った



石嶺伝一郎沖縄大会会長 大平明全広連理事長 玉城デニー沖縄県知事

続いて、大平明全広連理事長が登壇。「厳しい情勢の中、大会開催に向けて準備を重ねてこられた関係者の皆様に御礼申し上げたい。新型コロナは社会活動に大きな影響を及ぼしているが、課題を明確にした上で知恵を共有化し、沖縄の地から未来を見据えた前向きなメッセージを発信したい。全広連は、『広告の元気は、ニッポンの元気。』のスローガンの下、地域から日本を元気にしてまいりたい」と大会挨拶を行った。

来賓の玉城デニー沖縄県知事、桑江朝千夫沖縄市長がそれぞれ祝辞を述べた。

「第10回全広連日本宣伝賞」各賞の贈賞式では、「松下賞」が伊藤雅俊氏(味の素(株)執行役)、「正力賞」が小山薫堂氏(放送作家、脚本家、京都芸術大学副学長)、「吉田賞」が嶋村和恵氏(早稲田大学商学学術院教授、日本広告学会会長)、「山名賞」が杉山恒太郎氏(クリエイティブディレクター)へ贈られ、各受賞者が謝辞を述べた。ご欠席の伊藤雅俊氏の謝辞を片上崇氏(味の素(株)理事 広告部長)が代読した。



第10回全広連日本宣伝賞受賞者(左から大平理事長、片上崇氏、小山薫堂氏、嶋村和恵氏、杉山恒太郎氏)

「第1回鈴木三郎助全広連地域広告大賞」の「最優秀賞/チャレンジ部門賞」は、輝け!みんなの九州プロジェクトの「流れ星新幹線」(福岡広告協会推薦)に贈られ、プロジェクトを代表して青柳俊彦氏(九州旅客鉄道(株)代表取締役会長執行役員)が謝辞を述べた。「優秀賞/フィルム・オーディオ部門賞」は、長崎県南島原市の「突撃!南島原

情報局【神回】(長崎広告協会推薦)、「選考委員会特別賞/キャンペーン部門賞」は、岩手日報社、協賛延べ843社による「3月11日「県民の日」制定プロジェクト」(岩手広告協会推薦)、「プリント部門賞」は、青森県による「#縄文式ビリビリ健康法」(青森広告協会推薦)に贈られた。



第1回鈴木三郎助全広連地域広告大賞受賞者(左から大平理事長、JR九州 青柳俊彦氏、南島原市 佐々木航氏、岩手日報社 川村公司氏)



第1回鈴木三郎助全広連地域広告大賞の作品展示

その後、「『沖縄返還50年と広告を振り返る』オキナワが向かう明るい未来~広告・エンタメに観る復帰前後イメージの変遷~」をテーマにトークセッションが行われた。本土復帰50年の歴史と広告やエンターテインメント・文化の変遷をまとめた映像を見ながら、お笑いコンビ・ガレッジセールのゴリ氏と川田氏、元ボクシング世界王者の具志堅用高氏、うちな~嘶家の志いさー氏が自身のエピソードを交えながら、沖縄の歩みを語り合った。



トークセッションで本土復帰後の50年を振り返った

最後に、来年5月の第71回全広連金沢大会開催に向けて温井伸金沢大会会長が「来年は皆さんと金沢で広告の未来を語りあいたい」と大会への参加を呼びかけた。

石嶺沖縄大会会長から温井氏へ金沢大会の成功を祈念してシーサーが贈られ、式典は閉会となった。



石嶺沖縄大会会長(左)と温井金沢大会会長

第1回 鈴木三郎助全広連地域広告大賞 各部門の評価点について

従来の「全広連鈴木三郎助地域キャンペーン／クリエイティブ大賞」は、今年度より名称を「鈴木三郎助全広連地域広告大賞」とし、内容をリニューアルした。

地域の産業・経済・文化スポーツに関する広告活動を通じて、日本各地の地域活性化に貢献した優れた広告コミュニケーション活動を顕彰することにより、地域活性化を促進することを目的とし、「フィルム・オーディオ部門」「プリント部門」「チャレンジ部門」「キャンペーン部門」の4部門で

構成され、各部門賞の中から「最優秀賞」「優秀賞」を選出。選考委員会が適切と判断した場合「選考委員会特別賞」を選出する。

第1回同賞は、各地広告協会及び一般から147作品のエントリーがあり、全広連8ブロック委員と外部有識者選考委員で構成される選考委員会により審査が行われた。外部有識者選考委員からの各部門の総評を紹介する。受賞作品は全広連ホームページ(www.ad-zenkoren.org)で閲覧可能。

①受賞作品についてのコメント ②部門についての総評

フィルム・オーディオ部門

今井美緒氏 | 株式会社BBDO WEST
クリエイティブディレクター コピーライター

①オリジナリティ、クラフトのクオリティ、徹底的に楽しませようという熱量、どこをとってもとにかく圧倒的。「こんな見たことない」「こんなことできるんだ」と同じく地域で広告に従事する人間として憧れと嫉妬を抱いた。受け手だけでなく作り手にも刺激を与える仕事。賞がリニューアルされた今年、この作品に贈賞することができて本当によかったと思う。次点の「なんちようなんなん」も色々な人に見てほしい、聞いてほしいと思わせる素晴らしい仕事だと思った。

②審査基準は2つ。ひとつは挑戦度があること。たとえ荒削りでも、どこかで見たような表現ではなくオリジナリティやチャレンジがあるかどうか。もうひとつは、この作品を見た若手クリエイターや地域で活動する人たちが憧れや嫉妬を抱くような、新しい未来を作る可能性がある仕事かどうか。応募作は力作ぞろい、予算やキャストの壁などさまざまな制約があったとは思いますが、それでもどうにかして目立ってやろうという熱がどの作品にも強くもっていた。

プリント部門

土橋通仁氏 | 株式会社電通中部支社 セネラルマネージャー
グループクリエイティブディレクター アートディレクター

①新聞の企画を考える際、折る・切る・めくるなどは考えるが、ビリビリとやぶるという手法は考えたことがなかった。土偶をやぶって平癒祈願を体験させSNSへ。青森の縄文遺跡群の世界遺産登録を記憶させる真正面からのアイデアは新鮮だった。世の中の多くの人が自分や大切な人の健康を願う今の時代だからこそその受賞だと思う。次点の酒瓶のラベル自体をプリントメディアとする「四国銘酒88おへんろ絵巻」も見事な実現力だった。

②審査基準は、既視感がないアイデアであること。広告としての機能を実現しクライアントや団体・商品・プロジェクト、さらには地域まで魅力的に紹介できているものを選んだ。審査員全員が事前審査でかなり熱心に資料を読み込んだが、審査会場に入り熱量のある現物たちを目の当たりにするとそれまでの印象が大きく変わるのがこの部門の特徴。現物に触れながら、消費者の視点も大切に審査会ができた。

チャレンジ部門

鷹野愛郎氏 | 株式会社藤博報堂 クリエイティブディレクター
株式会社藤東北博報堂 エグゼクティブクリエイティブディレクター

①大切な人に会えない。県を越えて移動しづらい。そんなコロナ禍の中で、地域をつなぐ大動脈である「新幹線」は、経済的に計り知れないダメージを追ったはず。逆境だからこそ、こんな時代だからこそ、新幹線だからできるチャレンジがある！人と人、地域と地域を再び希望でつなぐ「流れ星」になって、九州新幹線は、鹿児島ー博多間を駆け抜けた。これほど感動的な光は見たことはなかった。実現までに、どれほどの壁にぶつかったことだろう。九州をひとつにしたチャレンジが、初代最高賞になった。

②そのチャレンジはどんな未来を開くのか？→「可能性の大きさ」と、そこに込められた「熱量」を重点ポイントとして審査した。初回にもかかわらず、最終選考には素晴らしい作品がひしめき、大分県杵築市の「おかえりの唄」プロジェクト。九州産業大学の「ラムネの涙」プロジェクトの2つは、それぞれ優れたチャレンジがあり、最優秀賞の「流れ星新幹線」と票を分け合った。チャレンジをアイデアで終わらせないヒントが盛り沢山！地域にこそ、広告の未来が芽生えていると感じた。

キャンペーン部門

田中里沙氏 | 事業構想大学院大学 学長
株式会社宣伝会議 取締役

①キャンペーンには軸となるアイデアを関係者が理解して立体的に展開することが求められる。受賞作には企画した人、当事者が気合を入れてやりきる、その迫力と情熱に賛同者が集い、多くの人の心を動かし、政治も動かしたという成果が伺えた。地域にはさまざまな課題があるが、広告は時代を写す鏡を越えて、社会を照らしていく装置になったと言える。誰もが誰かの力になっていく、勇気と希望を持ち続けることの意味を考えさせてくれた。

②地域社会に価値を生み出すキャンペーンとは何か、という深い問いを念頭に、選考委員からそれぞれに切り口の提案がなされた。うちの地域だからできた、人、企業、団体をこれでもかというくらいに巻き込んだ、そして最初は関心の薄かった方にも何かしらの影響や気づきを与えることになった、体温の感じられるキャンペーンが高く評価された。一過性でなく、地域社会の未来につながる予感が得られる作品の数々に出会えた。

広告で未来を明るく！ ようこそ南の島の広告祭へ

〈順不同〉

 Eat Well. Live Well. AJINOMOTO. 東京都中央区京橋1-15-1	沖縄サントリー 株式会社 那覇市宇安謝628	地域とともに、地域のために  沖縄電力 浦添市牧港5-2-1
 沖縄ヤマト運輸 糸満市西崎町4-21-3	Pasco 敷島製パン株式会社 名古屋市東区白壁3-3	 聖護院ハツ橋 京都市左京区聖護院山王町6
セイコーウオッチ株式会社 東京都中央区銀座1-26-1	第一三共ヘルスケア 東京都中央区日本橋3-14-10	 大正製薬株式会社 東京都豊島区高田3-24-1
DUSKIN 喜びのタネをまこう 吹田市豊津町1-33	タマホーム 東京都港区高輪3-22-9 タマホーム本社ビル	 那覇商工会議所 NAHA CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY 那覇市久茂地1-7-1 琉球リース総合ビル
 日清食品 大阪府淀川区西中島4-1-1 東京都新宿区新宿6-28-1	 株式会社マンダム 東京都港区南青山5-1-3 TS青山ビル	おかげさまで創業60周年  明治屋産業株式会社 福岡市博多区博多駅東2-14-1
 吉本興業ホールディングス 大阪府中央区難波千日前11-6 東京都新宿区新宿5-18-21	朝日新聞社 東京都中央区築地5-3-2	産経新聞社 東京都千代田区大手町1-7-2
日本経済新聞社 東京都千代田区大手町1-3-7	 毎日新聞 東京都千代田区一ツ橋1-1-1	読売新聞 YOMIURI BRAND STUDIO 東京都千代田区大手町1-7-1
中日新聞社 本社 名古屋市中区三の丸1-6-1 東京本社 東京都千代田区内幸町2-1-4	北海道新聞社 札幌市中央区大通西3丁目6	 西日本新聞社 本社 福岡市中央区天神1-4-1 北九州本社 北九州市小倉北区堺町1-2-16
 東奥日報 青森市第二問屋町3-1-89	 岩手日報社 盛岡市内丸3-7	 河北新報社 仙台市青葉区五橋1-2-28
 秋田新報 秋田市山王臨海町1-1	福島民報社 福島市太田町13-17	福島民友新聞社 福島市柳町4-29

広告で未来を明るく! ようこそ南の島の広告祭へ

〈順不同〉

 横浜市中央区太田町2-23	 新潟市中央区万代3-1-1	 長野市南県町657
 富山市安住町2-14	 金沢市南町2-1	 福井市大和田2-801
 岐阜市今小町10	 神戸市中央区東川崎町1-5-7	 松江市殿町383
 岡山市北区柳町2-1-1	 広島市中区土橋町7-1	 徳島市中徳島町2-5-2
 松山市大手町1-12-1	 高知市本町3-2-15	 那覇市久茂地2-2-2
 那覇市泉崎1-10-3	言葉と、生きていく。  東京都新宿区信濃町7	 東京都文京区音羽2-12-21
株式会社 小学館 東京都千代田区一ツ橋2-3-1	中央公論事業出版 東京都千代田区神田神保町1-10-1 IVYビル	 東京都中央区銀座3-13-10
 東京都千代田区麹町1-7	 東京都港区赤坂5-3-6	 東京都港区六本木6-9-1
 東京都港区六本木3-2-1	 東京都千代田区麹町1-12	 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
 東京都港区赤坂5-3-6 TBS放送センター	 東京都港区六本木3-2-1	 東京都港区台場2-4-8 フジテレビメディアタワー

広告の元気は、ニッポンの元気。

〈順不同〉

 福井市大和田2-510	 名古屋市中区新栄1-2-8	 名古屋市中村区平池町4-60-11
 大阪市北区扇町2-1-7	 大阪市北区茶屋町17-1	 大阪市中央区城見1-3-50
 広島テレビ開局60年 広島市東区二葉の里3-5-4	 徳島市中徳島町2-5-2	 福岡市早良区百道浜2-3-8
 福岡市中央区長浜1-1-1	 福岡市早良区百道浜2-3-2	 福岡市中央区清川2-22-8
 那覇市西1-4-8	 那覇市久茂地1-2-20	 那覇市久茂地2-3-1
 那覇市久茂地2-3-1	 東京都中央区晴海1-8-10	 東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー
株式会社 オリコム 東京都港区新橋1-11-7 新橋センタープレイス	株式会社 京橋エイジェンシー 東京都千代田区外神田5-4-4	 那覇市上之屋314-2
株式会社 ジェイアール東日本企画 東京都渋谷区恵比寿南1-5-5	株式会社 新東通信 名古屋市中区丸の内3-16-29	株式会社 大広 東京都港区芝2-14-5
 東京都港区芝浦1-13-10 第3東運ビル	株式会社 電通グループ 東京都港区東新橋1-8-1	 株式会社 電通アドギア 東京都中央区銀座8-21-1
 那覇市久茂地3-21-1 國場ビル	株式会社 電通東日本 東京都港区新橋4-21-3	株式会社 東急エージェンシー 東京都港区西新橋1-1-1

広告で未来を明るく！ ようこそ南の島の広告祭へ

〈順不同〉

株式会社 とうこう・あい 東京都中央区銀座7-13-12	ADEX 株式会社 日本経済広告社 東京都千代田区神田小川町2-10	株式会社 博報堂DYホールディングス 東京都港区赤坂5-3-1
株式会社 博報堂 東京都港区赤坂5-3-1	株式会社 博報堂DYメディアパートナーズ 東京都港区赤坂5-3-1	株式会社 博報堂プロダクツ 東京都江東区豊洲5-6-15 NBF豊洲ガーデンフロント
BRAIN OKINAWA 那覇市久茂地3-21-1 國場ビル	Metro Ad メトロアドエージェンシー 東京都港区西新橋1-6-21 NBF虎ノ門ビル	株式会社 読売広告社 東京都港区赤坂5-2-20
株式会社 ワイド 那覇市泉崎1-22-12 古蔵実業ビル	ad:tech tokyo 東京都港区六本木6-15-1 六本木ヒルズけやき坂テラス	株式会社 電通プロモーションプラス 東京都千代田区内幸町1-5-3 新幸橋ビル
株式会社 東北新社 東京都港区赤坂4-8-10	凸版印刷株式会社 東京都文京区水道1-3-3	nanovation 読谷村喜名2346-11 読谷村地域振興センター

通常総会・理事会報告

沖縄で第70回通常総会開く 令和3年度決算などを承認

第70回通常総会を、全広連沖縄大会前日の5月18日、那覇市の沖縄ハーバービューホテルで、正会員総数37広告協会のうち、正会員代表者21名が出席、16名から委任状を受けて開催した。

はじめに大平明全広連理事長が、「沖縄大会に向けて精力的にご準備いただいたご関係の皆様のご尽力に感謝申し上げます。加盟37広告協会の皆様と連携を深め、広告の力で地域から日本を元気にしていきたい。」と開会挨拶。定足数の充足を確認したあと大平理事長が議長席につき、議事録署名人を選任し、議事に入った。

田中洋志筆頭執行理事による司会進行のもと、第1号議案・令和3年度決算書類承認の件、第2号議案・任期満了に伴う理事及び監事選任の件について、それぞれ審議し委任出席を含め満場異議なく承認した。

この他、令和3年度事業の内容など、主に3月14日および



通常総会で令和3年度決算などを承認

4月25日の理事会で決定した事項について報告を行った。また、昨年の第69回全広連山陰大会開催の成功に対し、山陰広告協会への感謝の意を表し感謝状を授与、同協会の松尾倫男会長が代表して受領し、謝辞を述べた。以上で本総会は閉会した。

引き続き、同総会に出席した新理事・新監事は別室に移動して令和4年度第2回理事会を開催し、理事長、副理事長、筆頭執行理事、執行理事の選定、顧問の選任を行った。終了後、総会会場にて、田中洋志筆頭執行理事より本理事会の結果報告を行った。また、同総会をもって退任した前執行理事の中井良博氏と新たに執行理事に就任した東末吉史氏から挨拶があった。

最後に、石嶺伝一郎全広連沖縄大会会長より翌日からの沖縄大会開催にあたっての挨拶と、同大会事務局からの連絡事項の説明があり、すべてを終了した。



大平理事長(左)と松尾倫男山陰広告協会会長



令和4年度第2回理事会

【第70回通常総会議題】

- 第1号 令和3年度事業報告の内容報告の件
- 第2号 令和3年度決算書類承認の件(第1号議案)
監査報告
- 第3号 任期満了に伴う理事及び監事選任の件(第2号議案)
- 第4号 令和4年度事業計画及び収支予算の内容報告の件

- 第5号 「事務局業務委託契約書」一部改正及び再締結報告の件
- 第6号 第71回(令和5年度)全広連大会の概要報告の件
- 第7号 第1回鈴木三郎助全広連地域広告大賞受賞者報告の件
- 第8号 第10回全広連日本宣伝賞受賞者報告の件

全広連新役員一覧(敬称略・順不同、令和4年5月18日現在)

※は新任

理事長	大平 明 (公社)東京広告協会理事長	理事	谷重耕平※ 岐阜広告協会理事
副理事長	石嶺伝一郎 沖縄広告協会会長		吉松一郎※ 神戸広告協会理事
	砂塚隆広※ 金沢広告協会会長		増田泉子※ 広島広告協会理事長
筆頭執行理事	田中洋志 (公社)東京広告協会専務理事		伊藤能一※ 高知広告協会専務理事
執行理事	東末吉史※ (公社)東京広告協会事務局長		西山治宏 福岡広告協会理事長
理事	井上 周※ 山形広告協会理事長	監事	阿部龍二郎 (公社)東京広告協会
	片上 崇 (公社)東京広告協会理事		石部哲也※ 静岡県広告協会
	長倉 勉※ 横浜広告協会理事		

来年は金沢へ 第71回全日本広告連盟金沢大会ご案内

大会テーマ

広告は新たな時代への門だ。 ～加賀国立国千二百年～



KANAZAWA 2023

広告は新たな時代への門だ。

加賀国立国千二百年

第71回 全広連金沢大会事務局

かつて律令制の下で「加賀国(かがのくに)」が誕生したのは、平安時代の823(弘仁14)年でした。来年は立国からちょうど1200年です。その節目の年に第71回全日本広告連盟金沢大会が開かれます。

加賀国は令制国の中で最後に建てられた国でした。令制国の中心地である国府から遠く、行き来が難いため、農民が「逃散」と呼ばれる抵抗手段に出ても、中央から派遣された国司の巡検が難しかったことなどが建国に至った理由と伝わりますが、最後発の国は立国から間もなくして、国力の高さにより4等級で上から2番目に高い「上国(じょうこく)」に格上げとなりました。

中世には荘園が置かれ、戦国時代に加賀一向一揆による「百姓の持ちたる国」としての支配が100年続きましたが、江戸時代には加賀藩の領地は加賀、能登、越中の3カ国のほぼ一円に及び、「加賀百万石」として栄華を誇った歴史があります。藩政期に生まれ、花開いた豊かな文化土壌は時代を超えて脈々と受け継がれ、現代では世界に誇る文化都市金沢として存在感を示しています。

その金沢で来年5月17～19日に全広連金沢大会が開かれます。北陸新幹線金沢開業に合わせて2015年に開かれて以来、8年ぶり4回目となります。北陸新幹線の福井県敦賀市までの延伸を1年後に控えての大会となります。

大会のテーマは、「広告は新しい時代への門だ。～加賀国立国千二百年～」です。アメリカの旅行雑誌ランキングで、世界で最も美しい駅14選に国内で唯一選ばれた金沢駅の象徴的な建造物である鼓門(つづみもん)をイメージしています。能が盛んな金沢には「空から謡(うたい)が降ってくる」という言葉が伝わりますが、能の鳴り物に使われる鼓を模し、巨大な木組みで造られた荘厳な門です。伝統や文化を受け継いできた加賀国立国1200年の節目に、文化都市金沢の今を象徴する鼓門をモチーフにした大会のロゴマークにもなっています。

沖縄大会の「次年度開催地紹介」のプレゼンテーションでは、鼓門からスタートし、金沢城や国の特別名勝「兼六園」、長町武家屋敷、ひがし、にし、主計町(かずえまち)の三茶屋街、近江町市場、金沢21世紀美術館など金沢を代表する観光地をはじめ、丸谷焼や金箔、金沢漆器など



文化都市金沢を象徴する「鼓門」。金沢大会ロゴマークのモチーフ



国の特別名勝「兼六園」。周辺整備が進み、一段と県都の風格が高まっています

の伝統工芸のほか、カニなど新鮮な海の幸やすし、地酒、菓子、芸妓衆の御座敷、伝統の加賀鳶(とび)、用水が流れる街並みなど金沢の魅力を伝える映像を流しながら、「金沢から広告という門をくぐって新たな時代へ」というメッセージを込めた金沢大会をアピールしました。



歴史を感じるひがし茶屋街

コロナ禍やウクライナ危機で世界情勢が激変し、人々の価値観が大きく変化する中で、金沢大会は未知の世界の入り口である「門」をくぐって、新たな時代を映す広告の役割や力、可能性を見出す大会にしたいと願っています。

金沢大会は、その鼓門に程近い石川県立音楽堂で式典、ANAクラウンプラザホテル金沢で懇親会をそれぞれ開きます。エクスカーションは加賀国立国1200年にちなみ、歴史や文化を五感で味わい、存分に楽しめる1日コースと1泊2日コースを計画し、詳細なコースの設定を進めています。懇親ゴルフ会は、男女のメジャー大会を3回開催したことがある片山津ゴルフ倶楽部白山コース(加賀市)で開催します。

前回の金沢大会以降には、日本海側初の国立美術館となる国立工芸館が開館し、金沢城の復元整備の一環で鼠多門(ねずみたもん)・橋も完成するなど、多くの文化施設

や歴史的な建築物が集積する「兼六園周辺の文化の森」の整備が進み、歴史や文化が息づく県都の風格が一段と高まりました。金沢駅金沢港口(西口)にはハイアット系ホテルが入る複合施設「クロスゲート金沢」が開業し、海の玄関口では拠点となる金沢港クルーズターミナルがオープンするなど、「新たな顔」が次々と加わり、古いものと新しいものがよく溶け合う金沢の街の魅力を高めています。

北陸新幹線開業後は大型クルーズ船の寄港も相次ぎ、全国各地からインバウンド(訪日外国人)を中心に大勢の観光客がどっと押し寄せ、県内各地でにぎわいを見せましたが、一昨年来の新型コロナで大きな打撃を受けており、2024年春の北陸新幹線県内全線開業に期待を膨らませながら、地域経済の再生を進めています。

大会事務局では、総務、式典講演、宿泊見学、懇親の4部会を設け、前回の金沢大会よりも実りある大会にして満足してもらえるように、金沢広告協会員一同が総力を挙げて準備を重ねていきます。

伝統を守りながら、革新的なアイデアも積極的に取り入れ、型にとらわれない魅力あふれる文化都市金沢。加賀国立国1200年の節目に、皆様のご来県を心よりお待ちしております。



新しい金沢を代表する「金沢21世紀美術館」



INFORMATION

第33回全広連夏期広告大学/第15回全広連秋のシンポジウム(令和4年度)

第33回全広連夏期広告大学および第15回全広連秋のシンポジウムは、公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団の協賛により、全広連と下記5地区の開催地広告協会との共催により開催される。

【主催】公益社団法人 全日本広告連盟、開催地広告協会

【協賛】公益財団法人 吉田秀雄記念事業財団

夏期広告大学	秋のシンポジウム
<ul style="list-style-type: none"> 高知市(高知広告協会) 8月25日(木) 岡山市(岡山広告協会) 9月8日(木) 大阪市(大阪広告協会) 8月予定 	<ul style="list-style-type: none"> 広島市(広島広告協会) 10月予定 松江市(山陰広告協会) 調整中



昨年度全広連シンポジウムの様子(新潟市)

加盟各地広告協会 人事 [順不同・敬称略]

会長就任	<ul style="list-style-type: none"> 【熊本広告協会】 福岡 哲生(株鶴屋百貨店代表取締役社長) 4月1日付 【神戸広告協会】 吉井 満隆(バンドー化学株代表取締役会長) 5月11日付
理事長就任	<ul style="list-style-type: none"> 【新潟広告協会】 井嶋 猛(株新潟日報社統合営業本部ビジネス局長) 3月14日付 【宮崎広告協会】 田代 学(株宮崎日日新聞社常務取締役営業局長) 4月1日付 【富山広告協会】 蒲地 誠(株北日本新聞社代表取締役社長) 4月26日付 【長野県広告協会】 北野 淳史(信濃毎日新聞社広告局長) 5月11日付 【秋田広告協会】 泉 一志(株秋田魁新報社取締役総合営業本部長) 5月13日付
事務局長就任	<ul style="list-style-type: none"> 【山梨広告協会】 中嶋 孝広(株山梨日日新聞社広告局次長) 6月15日付

加盟各地広告協会 新入会員社紹介 [順不同・敬称略]

【大阪広告協会】(1社2名)

■株フルスピード デジタルマーケティング事業部 第1セールス&ビジネスストラテジー部 西日本営業所 第3アカウントG 坂本好多
デジタルマーケティング事業部 第1セールス&ビジネスストラテジー部 西日本営業所 第3アカウントG 栗屋凌

【お願い】人事異動などによる会員の交代や役職の変更等が生じ、機関誌「全広連」の発送先が変更になった場合は所属広告協会事務局へご連絡をお願いします。

公益社団法人 全日本広告連盟 加盟37広告協会

全北海道広告協会 秋田広告協会 東京広告協会 山梨広告協会 岐阜広告協会 大阪広告協会 広島広告協会 高知広告協会 熊本広告協会 沖縄広告協会
青森広告協会 山形広告協会 横浜広告協会 富山広告協会 静岡県広告協会 神戸広告協会 徳島広告協会 福岡広告協会 大分広告協会
岩手広告協会 福島広告協会 新潟広告協会 金沢広告協会 愛知広告協会 山陰広告協会 香川広告協会 佐賀広告協会 宮崎広告協会
仙台広告協会 千葉広告協会 長野県広告協会 福井広告協会 京都広告協会 岡山広告協会 愛媛広告協会 長崎広告協会 鹿児島広告協会

全広連は、下記37広告協会の会員の皆様にお送りしています。

全広連の活動について詳しくはウェブサイトから ▶ www.ad-zenkoren.org